

令和4年度シラバス（教科：家庭）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	リビングデザイン	単位数	2単位	学年（コース）	2年 福祉コース
使用教科書	実教出版「リビングデザイン」				
副教材等	東京商工会議所「福祉住環境コーディネーター検定試験 3級公式テキスト」				

1 学習目標

住生活と文化、住空間の構成と計画、デザインなどについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につけるとともに、豊かな住生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を育てる。

2 指導の重点

- ①福祉住環境コーディネーターの役割について理解を深め、必要な知識の習得を目指す。
- ②高齢者や障害のある人について理解し、生活を支える工夫について考える態度を育成する。
- ③知識定着の確認と職業人としての資質・能力を育成するため、福祉住環境コーディネーター検定試験3級合格を目指す。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	暮らしやすい生活環境をめざして 健康と自立をめざして	教科書 検定テキスト ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆少子高齢社会と共生社会への道</li> <li>◆福祉住環境整備の重要性・必要性</li> <li>◆住宅生活の維持とケアサービス</li> <li>◆高齢者の健康と自立</li> <li>◆障害者が生活の不自由を克服する道</li> </ul>	20	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み
2 学期	バリアフリーとユニバーサルデザイン 安全・安心・快適な住まい		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住まいの整備のための基本技術</li> <li>◆生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい</li> <li>◆ライフスタイルの多様化と住まい</li> <li>◆福祉住環境コーディネーター検定試験3級受検</li> </ul>	29	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み
3 学期	安心できる住生活とまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安心できる住生活</li> <li>◆安心して暮らせるまちづくり</li> </ul>	15	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み

4 課題・提出物等

計 64時間（55分授業）

○検定のための予想問題・過去問題等を週末課題や朝学習として行い、提出します。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
少子高齢社会や高齢者・障害者の生活に関心を持ち、共生社会を目指して意欲的に学習に取り組むことができる。	家庭や地域の生活や現状をみつめ、課題を見出すことができる。その課題に対する解決策を思考し、適切な支援は何かを判断することができる。	安全・安心・快適な住まいを目指し、支援するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	住環境整備に必要な基本的な知識を身につけている。福祉住環境コーディネーター必要性を理解し、職業人としての資質を身につけている。

以上の観点を踏まえ、  
○定期考査 ○授業への取り組み ○提出物 ○出欠  
などを総合的に評価します。

6 担当者から一言

少子高齢社会の現状と住環境の重要性を理解し、福祉住環境コーディネーターの役割や福祉に関する様々な制度等を学習します。1年間の総まとめとして『福祉住環境コーディネーター3級』を受検し、資格取得を目指します。